

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 5 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 10 月 20 日 (2005.10.20)

【公開番号】特開 2000-46225 (P2000-46225A)
【公開日】平成 12 年 2 月 18 日 (2000.2.18)
【出願番号】特願 平 11-148529
【国際特許分類第 7 版】

F 1 6 K 31/06

【F I】

F 1 6 K 31/06 3 0 5 D

F 1 6 K 31/06 3 0 5 J

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 6 月 14 日 (2005.6.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ハウジングと、該ハウジング内に配設され外側にコイルが巻かれるヨークと、該ヨーク内に同軸的且つ摺動可能に配設されたプランジャとを備え、前記コイルへの通電量より前記プランジャが可変摺動するソレノイドバルブにおいて、

少なくとも前記ヨークの内周面及び前記プランジャの外周面のいずれか一方にコーティング処理を施したことを特徴とするソレノイドバルブ。

【請求項 2】

前記コーティング処理はテフロン系の物質を用いたことを特徴とする、請求項 1 記載のソレノイドバルブ。

【請求項 3】

前記コーティング処理は、前記ヨークの内周面と前記プランジャの外周面との間を磁気的に隔離することを特徴とする、請求項 1 記載のソレノイドバルブ。

【請求項 4】

前記コーティング処理は摺動抵抗を小さくするコーティング処理としたことを特徴とする、請求項 1 記載のソレノイドバルブ。

【請求項 5】

前記コーティング処理により薄膜が形成されることを特徴とする、請求項 1 記載のソレノイドバルブ。

【請求項 6】

前記薄膜は、前記ヨークの内周面と前記プランジャの外周面との間を磁気的に隔離することを特徴とする、請求項 5 記載のソレノイドバルブ。